

様式第2号（第3条関係）

倉吉市議会政務活動費収支報告書（兼精算書）

令和6年4月30日

倉吉市議会議長 様

議員名 鳥羽 昌明



倉吉市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項（第2項）の規定に基づき、次のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入

政務活動費 240,000 円

2 支 出

（単位：円）

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	17,688円	令和5年度タブレット端末に係る通信料負担金
研 修 費	203,620円	日本自治創造学会研究大会参加費 ほか
広 報 費	111,823円	広報紙デザイン料、広報紙折込料
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	333,131円	

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 交付上限額（在職した月数×2万円） 240,000 円

4 残 額（収入額－支出額又は交付上限額のいずれか低い額） 0円

資料1

領収書等添付一覧

(令和5年度報告分)

科 目	調査研究費	
整 理 番 号	主な支出内容	支出金額(円)
1	令和5年度タブレット端末に係る通信料負担金	17,688
こ の 表 の 合 計		17,688円

資料2

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	調査研究費																				
整理番号	1																				
領収書等添付欄																					
公 令和5年度 領収証書 <table><tr><td>加入者名</td><td>倉吉市会計管理者</td></tr><tr><td>口座番号</td><td>01490-7-960024</td></tr><tr><td>納付番号</td><td>20230002006501000000</td></tr><tr><td>納付書番号</td><td>20065</td></tr><tr><td>金 額</td><td>17,688 円</td></tr><tr><td>納入者氏名</td><td>市議会議員 鳥羽 昌明</td></tr><tr><td>所 属 名</td><td>他部局議会事務局</td></tr><tr><td>納入期限</td><td>令和6年3月29日</td></tr><tr><td>管理番号</td><td>112302</td></tr><tr><td>摘 要</td><td>令和5年度タブレット端末に係る通信料負担金(4月~3月分) @2,948×1/2×12月=17,688円</td></tr></table> 上記の金額を領収しました。 領収日付印  ※ 納付場所・お問い合わせ先は裏面に記載 収納代行会社 地銀ネットワークサービス㈱(DNS) 鳥取県倉吉市 312037 収入印紙不要(納付者保管)		加入者名	倉吉市会計管理者	口座番号	01490-7-960024	納付番号	20230002006501000000	納付書番号	20065	金 額	17,688 円	納入者氏名	市議会議員 鳥羽 昌明	所 属 名	他部局議会事務局	納入期限	令和6年3月29日	管理番号	112302	摘 要	令和5年度タブレット端末に係る通信料負担金(4月~3月分) @2,948×1/2×12月=17,688円
加入者名	倉吉市会計管理者																				
口座番号	01490-7-960024																				
納付番号	20230002006501000000																				
納付書番号	20065																				
金 額	17,688 円																				
納入者氏名	市議会議員 鳥羽 昌明																				
所 属 名	他部局議会事務局																				
納入期限	令和6年3月29日																				
管理番号	112302																				
摘 要	令和5年度タブレット端末に係る通信料負担金(4月~3月分) @2,948×1/2×12月=17,688円																				
支 払 先	倉吉市																				
領 収 書 等 添付合計金額	17,688円																				

資料1

領収書等添付一覧

(令和5年度報告分)

科 目	研修費	
整 理 番 号	主な支出内容	支出金額(円)
1	日本自治創造学会研究大会参加費	11,000
2	日本自治創造学会年会費	2,000
3	日本自治創造学会第15回研究大会 旅費	79,020
4	地方議員研究会研修会受講代	30,000
5	地方議員研究会セミナー参加旅費	56,600
6	廣瀬行政研究所地方議会セミナーオンライン受講代	25,000
こ の 表 の 合 計		203,620円

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	調査研究費
整理番号	1
領収書等添付欄 領 収 証 鳥羽 昌明 様 No. 52 金 額 711000 但 第15回 日本自治創造学会研究大会 参加費 2023年 5月 24日 上記正に領収いたしました 内 訳 一般財団法人 日本自治創造学 税抜金額 理事長 總 坂 邦 消費税額等(%) 東京都千代田区神田佐久間町2-5 コクヨ ウケ-695	
支 払 先	一般財団法人 日本自治創造学会
領 収 書 等 添付合計金額	11,000円

研究大会 プログラム

■ 第1日目 5月24日(水)

12:00 開場・受付

13:00～13:10 大会挨拶 穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長)

13:10～13:50 講演 **DX時代の日本の原動力を考える**
益 一哉 (東京工業大学学長)

13:50～14:30 講演 **社会インフラ管理の重要性と人材育成**
石川 雄章 (㈱ベシスコンサルティング代表取締役社長・北海道大学客員教授)

14:30～14:40 質疑

14:40～14:50 休憩

14:50～15:40 事例発表
新たな議会の挑戦～議員政策条例の推進～
田村 琢実 (埼玉県議会議員・元議長)
埼玉県議会へ問う「地方議会のあり方」
穂坂 邦夫 (日本自治創造学会理事長)

15:40～15:50 質疑

15:50～17:20 自治体事例発表 ～DX時代の個性あるまちづくり～
教育と音楽とスポーツの個性あるまちづくり
清水 聖義 (群馬県太田市市長)
スマートシティの新たな挑戦
宮元 陸 (石川県加賀市長)
「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち」を目指して
中村 一郎 (岩手県盛岡市副市長)

17:20～17:30 質疑

17:40～19:20 改革発表会 ～改革大発信・ベスト1の選出～

■ 第2日目 5月25日(木)

10:00～10:40 講演 **地域の活性化と組織の自立・連携**

渡部 晶(財務省大臣官房政策立案総括審議官)

10:40～10:50 質疑

10:50～11:30 講演 **出生率2.95 人口維持のまちづくり～町全体での子育て～**

奥 正親(岡山県奈義町長)

11:30～11:40 質疑

11:40～13:00 昼 食

[12:35～(財)日本自治創造学会総会]

13:00～14:50 パネルディスカッション

自治力を高めるには!

パネリスト

牛山 久仁彦(明治大学政治経済学部教授)

後 房雄(愛知大学地域政策学部教授)

金井 利之(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

宮台 真司(東京都立大学人文社会学部教授)

コーディネーター

西出 順郎(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)

14:50～15:00 質疑

15:00～15:05 閉会挨拶 牛山 久仁彦((財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)

資料2

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	調査研究費				
整理番号	2				
領収書等添付欄					
領 収 証 鳥羽 昌明 様 No. 52 金 額 72000- 但 日本自治創造学会 2023 年度 年会費 2023年 5 月 24 日 上記正に領収いたしました 内 訳 <table border="1"><tr><td>税抜金額</td><td></td></tr><tr><td>消費税額等(%)</td><td></td></tr></table> コクヨ ウケ-695 一般財団法人 日本自治創造 理事長 穂 坂 邦 東京都千代田区神田狂久間町 2,000円(2023年度年会費)÷12月×9月(4月～12月)≒1,499円		税抜金額		消費税額等(%)	
税抜金額					
消費税額等(%)					
支 払 先	一般財団法人 日本自治創造学会				
領 収 書 等 添付合計金額	1,499円				

各

位

日本自治創造学会 第15回研究大会の開催について 御案内

謹啓 時下益々御清祥のことと存じます。
さて、日本自治創造学会では、**2023**年度研究大会を開催いたします。

D X時代の地方創生 ～ “自治力”を高める～

日 時

2023年5月24日(水) 13:00～17:30
25日(木) 10:00～15:05

場 所

明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
〒101-2301 東京都千代田区神田駿河台1-1

参加費

会員 13,000円(年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む)
※大学院生会員参加費 2,000円(年会費・2日間大会参加費・資料代含む)
非会員 15,000円(2日間大会参加費・資料代含む)
※大学院生非会員参加費 3,000円(2日間大会参加費・資料代含む)
改革発表会 参加費：無料(交流会なし)

別紙プログラムのとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

参加希望者は同封の参加申込書にご記入の上FAXでお申込ください。(HPからも申込可能)

HP: <https://jsozo.org>

- ①参加申込書が到着次第、参加受付票をお送り申し上げます。(参加費当日払い)
- ②参加受付票をご持参いただかないと入場できませんので、必ずご持参ください。
- ③会員の方は、会員証を必ずご持参ください。

[お問合せ先]

研究大会運営について

日本自治創造学会 事務局(NPO法人 地方自立政策研究所内)

TEL 03-5846-9227 FAX 03-5846-9228

E-MAIL: info@jsozo.org HP: <https://jsozo.org>

宿泊・交通について

・ANAダイナミックパッケージ <https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic>

ご不明な点は ダイナミックパッケージデスクまで 050-3172-2344 受付時間:9:30～18:00

宿泊・交通については各自ご予約ください

財団法人 日本自治創造学会
理事長 穂坂邦夫

財団法人 日本自治創造学会の概要

The Japanese Society for Local Democracy

1. 本会の特色

(1) 自治の創造

本会は、市民的な視野に立ち、学術と実践の知的交流を通じて日本の再生、地方自治の創造をめざそうとするものである。特に地方議会の議員を中心に、自治体の首長、職員、市民、研究者を加えて地域に根ざした実践的な研究及び会員相互の交流を通じて、地域主権国家にふさわしい自立・自律的な地方自治を創造することを目的としています。

(2) 幅広い事業への取組み

学術研究大会やシンポジウムを開催し、参加者との意見交換を活発に行うとともに、構成員（会員）の自治体改革や議会改革についての①事例発表機会の提供、②取組内容や成果に対する本の刊行など幅広い活動を行います。

(3) 社会貢献

法人格（財団法人）を有する団体として透明性の高い運営を図り、広く社会に貢献します。

2. 本会の概要

(1) 事業

- ①学術シンポジウム、研究発表、交流大会の開催
- ②各種機関と連携し、会員への情報の提供
- ③機関紙の発行と必要に応じ本の刊行

(2) 会員 約300名・研大会参加者 約500～600名

- ①地方議員、首長、自治体職員
- ②地方自治に関心のある市民及び団体、研究者

(3) 会費

- ①正会員は研究大会参加費13,000円（年会費・資料代含む）とし、院生等は2,000円（年会費・資料代含む）とする。
- ②研究大会（年次大会）のみに参加する者は、その都度、参加費として15,000円（資料代含む）を納入する。

(4) 研究大会（年次大会）

講演会やシンポジウムを開催する。

(5) 役員構成

理事（理事長）	穂坂 邦夫（NPO法人地方自立政策研究所理事長）
理事	金井 利之（東京大学教授）
理事	牛山久仁彦（明治大学教授）
理事	宮台 真司（東京都立大学教授）
理事	西出 順郎（明治大学教授）〔幹事兼務〕
理事	後 房雄（愛知大学教授）
幹事	西田 陽光（一般社団法人次世代社会研究機構代表理事）
幹事	戸崎 将宏（千葉県庁）
監事	服部 範雄（会社顧問、元関東管区警察局長）
監事	丸山 晃（株式会社埼玉新聞社名誉顧問）

(6) 学会事務局

事務局はNPO法人地方自立政策研究所（〒101-0025東京都千代田区神田佐久間町2-24-301・TEL03-5846-9227）に置き、学会事務（会計を含む）を担当します。

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	研修費
整理番号	3

明 細 書

政務活動費

職 名	議員		氏名	鳥羽 昌明			
日 時	令和5年5月24日(水)～令和5年5月25日(木)						
日 当	2 日	2,600 円	5,200 円	日	円	円	5,200 円
宿 泊 料	1 泊	13,100 円	13,100 円	泊	円	円	13,100 円
鉄 道 賃	羽田空港⇄浜松町	35.6 km	1,000 円	浜松町⇄御茶ノ水	11.4 km	340 円	1,340 円
		km	円		km	円	
		km	円		km	円	
急 行 賃		km	円		km	円	円
		km	円		km	円	
		km	円		km	円	
特 別 車 両			円			円	円
航 空 賃	鳥取空港⇄羽田空港	1,056 km	56,940 円		km	円	56,940 円
		km	円		km	円	
車 賃	倉吉駅⇄鳥取空港	km	2,440 円		km	円	2,440 円
		km	円		km	円	
		km	円		km	円	
そ の 他		km	円		km	円	円
用 務	日本自治創造学会第15回研究大会(東京都)						
合 計						79,020 円	

領収書

WEB 28fb2e376e-00000-224050-0-1100

表示日 2024年04月23日(火)

様

金額

¥56,940- (税込)

クレジット支払い

(消費税10%対象 ¥56,940- (税込))

但し

運賃および税金・料金等

航空券発行日

2023年05月15日(月)

上記、正に領収いたしました。

航空券番号

1010357291266013

1010357291266024

照会番号

5FM7JB



A STAR ALLIANCE MEMBER

全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co., Ltd.

登録番号: T1010401099027

航空券明細

WEB 28fb2e376e-00000-224050-0-1100

表示日 2024年04月23日(火)

ご搭乗者名/照会番号

トバ マサアキ様

(5FM7JB)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2023年05月24日(水)	ANA294	鳥取 - 東京(羽田)	普通席	バリュー3D	¥28,470-	2023年05月15日(月)
2023年05月25日(木)	ANA299	東京(羽田) - 鳥取	普通席	バリュー3D	¥28,470-	2023年05月15日(月)

合計金額

¥56,940-

視察報告書

令和5年 5月 29日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員

鳥羽 昌 明

政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

記

- 1 視察期間 令和5年5月24日(水) から 令和5年5月25日(木) まで
- 2 視 察 先 一般社団法人 日本自治創造学会 研究大会
東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーホール
- 3 視察議員名 鳥羽 昌明
- 4 面 会 者 ー
- 5 視察目的 第15回 2023年度日本自治創造学会研究大会
「DX時代の地方創生 ～自治力を高める～」参加
- 6 視察の経過及び感想
1日目
■講演
①「DXを超えるには」 益 一哉(東京工業大学学長)
②「社会インフラ管理の重要性と人材育成」 石川 雄章(北海道大学客員教授・(株)ベシスコンサルティング代表取締役社長)
■事例発表
③「新たな議会の挑戦～議員政策条例の推進～」 田村 琢実(埼玉県議会議員・元議長)
④「埼玉県議会へ問う“地方議会のあり方”」 穂坂邦夫(日本自治創造学会理事長)
■自治体事例発表～DX時代の個性あるまちづくり～
⑤「教育と音楽とスポーツの個性あるまちづくり」 清水 聖義(群馬県太田市市長)
⑥「スマートシティの新たな挑戦」 宮元 陸(石川県加賀市長)
⑦「ひと・まち・未来が輝き世界につながるまちを目指して」 中村 一郎(岩手県盛岡市副市長)

2日目

■講演

⑧「地域の活性化と組織の自立・連携」渡部 晶（財務省大臣官房政策立案総括審議官）

⑨「出生率2.95人口維持のまちづくり～町全体での子育て～」奥 正親（岡山県奈義町長）

■パネルディスカッション

⑩「自治力を高めるには」牛山 久仁彦（明治大学政治経済学部教授）、後 房雄（愛知大学地域政策学部教授）、金井 利之（東京大学大学院法学部政治学研究科教授）、宮台 真司（東京都立大学人文社会学教授）、西出 順郎（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

【要旨および所感】

いずれのプログラムも興味深い内容であったが、特に切実な問題意識をもったのが、②「社会インフラ管理の重要性と人材育成」であった。

今後我々が直面するのは、急速な人口減少＋地球温暖化による気象災害の頻発化＋建設後50年経過するインフラ老朽化＋建設土木業従事者の高齢化と労働力不足など、これら深刻な諸課題が同時進行していく社会である。講師はこうした局面にこそ社会におけるデジタルの活用がその解決の糸口になるとする。その一例として、「老朽橋」の割合は20年後に約4倍増加する一方で技術者は約2割減・維持費用は約4割増加すると予測されるが、この橋梁等の定期点検の支援技術にドローンを活用することで大型の橋梁点検車や通行規制は不要となり、AI活用により異常検知の判断や点検効率化が図られると言う。

また自治体職員においても将来のインフラ管理を担う人材不足が懸念されるが、資料作りや内業など機械で出来ることは機械に任せて、人はリアルな経験や知識を積み重ねて技術力を高めていくべきだとする。

こうしたドローン・カメラ・AIなどの活用は、従来のように大型重機など必要としないことから地域外の大きな企業に頼ることなく自分たちで対応可能となる、つまり小さな企業や自治体にこそDXはこれから生き残るための重要なツールとなり、社会課題の解決を新たなビジネスや雇用創出へ転換する可能性も広がる。

その上で我々に求められるのは、地域DXを支える「デジタル活用人材の育成」であり、デジタルを活用する力を「自分たちで身に着ける」という意識である。それが「自治力を高める」ことにつながっていく。

本市においても、多くの社会インフラが更新時期を迎え・超過するとともに、冬期の除雪対応、そして防災減災・国土強靱化の観点から、建設・土木分野を将来にわたって持続可能なものとしていくことは極めて重要である。

この点、本市の現状と将来の懸念を明らかにし、市へ対応を求めている。

7 添付書類

要した経費： 1人合計 79,020円

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	研修費
整理番号	4
領収書等添付欄 領 収 証 2024 年 2 月 6 日 鳥羽昌明 様 ★ ￥30,000 但 2/6 14時～ 公共施設マネジメント政策 2/7 10時～ 人口減少対策(まちひとしごと総合戦略) 研修会受講代として 上 記 正 に 領 収 いた しま し た 地方議員研究会 〒530-0001 大阪府大阪市北 大阪駅前第2ビル TEL 050-68	
支 払 先	地方議員研究会
領 収 書 等 添付合計金額	30,000円



1/9^火 in 博多 2/6^火 in 東京

10:00～12:30

子ども子育て政策

- ・こども家庭庁の役割と政策
- ・ヤングケアラー、子どもの貧困・虐待問題の予算等について
- ・子育て支援策の自治体での展開
- ・こども未来戦略方針の資料からわかる今後の政策

14:00～16:30

公共施設マネジメント政策

- ・自治体の公共施設の大半は学校施設
- ・学校統廃合、長寿命化計画を確認しよう
- ・公共施設関連の財政措置のおさらい
- ・水道管やインフラ施設老朽化の考え方

人口減少時代の

重要政策集中講座

1/10^水 in 博多 2/7^水 in 東京

10:00～12:30

人口減少対策(まちひとしごと総合戦略)

- ・我が街の人口減少問題の現状をデータで確認
- ・人口減少対策の各種政策の考え方
- ・総合戦略、人口ビジョンの質問突っ込みどころ
- ・人口減少時代の自治体で、今から取り組むべき質問

14:00～16:30

DX、デジタル化政策

- ・デジタル庁の政策、資料から学ぶ行政DX
- ・自治体の基幹系システムの基礎的理解
- ・役所と職員のデジタル化の現状と課題
- ・DX以前にお役所仕事を辞めさせるための議員からの質問

講師

くろせ ゆうだい
黒瀬 雄大
元 交野市議会議員



大阪府交野市役所
(税務室 財務課 こども園課)

交野市議会議員(1期)

民間企業勤務
(ITコンサルタント・データサイエンティスト)

九州大学経済学部卒(経済学士)

大阪市立大学大学院創造都市研究科
(都市政策修士)

大阪大学大学院
国際公共政策研究科単位取得退学

自治体の効率性について研究
得意領域は自治体財政、データの可視化

↑ FAX 050-6868-9679 ↑

お申込みは ☎ FAX または ✉ メール にて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.or.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで050-6868-9679宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ ☒ チェックください。

in 博多	
1月9日 (火曜日)	10:00~12:30 ☐ 子ども子育て政策
	14:00~16:30 ☐ 公共施設マネジメント政策
1月10日 (水曜日)	10:00~12:30 ☐ 人口減少対策 (まちひとしごと総合戦略)
	14:00~16:30 ☐ DX、デジタル化政策

in 東京	
2月6日 (火曜日)	10:00~12:30 ☐ 子ども子育て政策
	14:00~16:30 ☐ 公共施設マネジメント政策
2月7日 (水曜日)	10:00~12:30 ☐ 人口減少対策 (まちひとしごと総合戦略)
	14:00~16:30 ☐ DX、デジタル化政策

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号	() -	FAX番号	() -
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他 ()		
会場の参加を希望せず、 郵送サービスでのお申込みの方は チェックしてください		☐ 当日不参加(資料、USB動画データ、領収証 郵送希望) 動画データの無断転載等はないことに同意して申込みます ※定員がございまして、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。	
郵送先の住所 ※郵送希望の方は ご記入ください		郵便 番号 (-)	

開催場所 in 博多 リファレンス 駅東ビル
4講座 〒812-0013 福岡市
同場所 博多区博多駅東1丁目16-14



開催場所 in 東京 リファレンス 国際ビル貸会議室
4講座 〒100-0005 東京都千代田区丸の内
同場所 3丁目1-1 国際ビル2F



受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ
事務局

地方議員研究会

TEL 050-6868-9678

FAX 050-6868-9679

メール mail@chihogiken.or.jp

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室

資料2

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	研修費
整理番号	5

明 細 書

政務活動費

職 名	議員		氏名	鳥羽 昌明			
日 時	令和6年2月6日(火)～令和6年2月7日(水)						
日 当	2 日	2,600 円	5,200 円	日	円	円	5,200 円
宿 泊 料	1 泊	13,100 円	13,100 円	泊	円	円	13,100 円
鉄 道 賃	羽田空港⇨浜松町	35.6 km	1,000 円	浜松町⇨有楽町	4.6 km	300 円	1,300 円
		km	円		km	円	
		km	円		km	円	
急 行 賃		km	円		km	円	円
		km	円		km	円	
		km	円		km	円	
特別車両			円			円	円
航 空 賃	鳥取空港⇨羽田空港	1,056 km	34,560 円		km	円	34,560 円
		km	円		km	円	
車 賃	倉吉駅⇨鳥取空港	km	2,440 円		km	円	2,440 円
		km	円		km	円	
		km	円		km	円	
そ の 他		km	円		km	円	円
用 務	地方議員研究会セミナー 参加						
合 計						56,600 円	

領収書

WEB bd34a9269a-00000-223251-0-1100

表示日 2024年04月23日(火)

様

金額 ¥34,560- (税込)
クレジット支払い
(消費税10%対象 ¥34,560- (税込))

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2024年01月17日(水)

上記、正に領収いたしました。

航空券番号	1010383539032011	1010383539032022
照会番号	5GPKS3	



全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.
登録番号: T1010401099027

航空券明細

WEB bd34a9269a-00000-223251-0-1100

表示日 2024年04月23日(火)

ご搭乗者名/照会番号

トバ マサアキ様 (5GPKS3)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2024年02月06日(火)	ANA296	鳥取 - 東京(羽田)	普通席	スーパーバリュー21	¥17,280-	2024年01月17日(水)
2024年02月07日(水)	ANA299	東京(羽田) - 鳥取	普通席	スーパーバリュー21	¥17,280-	2024年01月17日(水)

合計金額
¥34,560-

視察報告書

令和6年2月12日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員

鳥 羽 昌 明

政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

記

1 視察期間 令和6年2月6日(火)から 令和6年2月7日(水)まで

2 視 察 先 地方議員研究会 東京会場
東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル2F

3 視察議員名 鳥羽 昌明

4 面 会 者 ー

5 視察目的 地方議員研究会セミナー参加
人口減少時代の重要政策集中講座
(1) 公共施設マネジメント政策
(2) 人口減少対策(まちひとしごと総合戦略)

6 視察の経過及び感想

【所感】

元自治体職員であり元市議という経歴を持つ講師による、議員向けの講義は大変興味深い。職員の考え方や理屈や業務の進め方についてのほか、職員は議員をどのように見ているか、議員はこうした視点で執行側を見るべきといったアドバイスや、執行側にはこうした資料が存在する、議会でここを質すべき等といった指南も大変に参考になる。

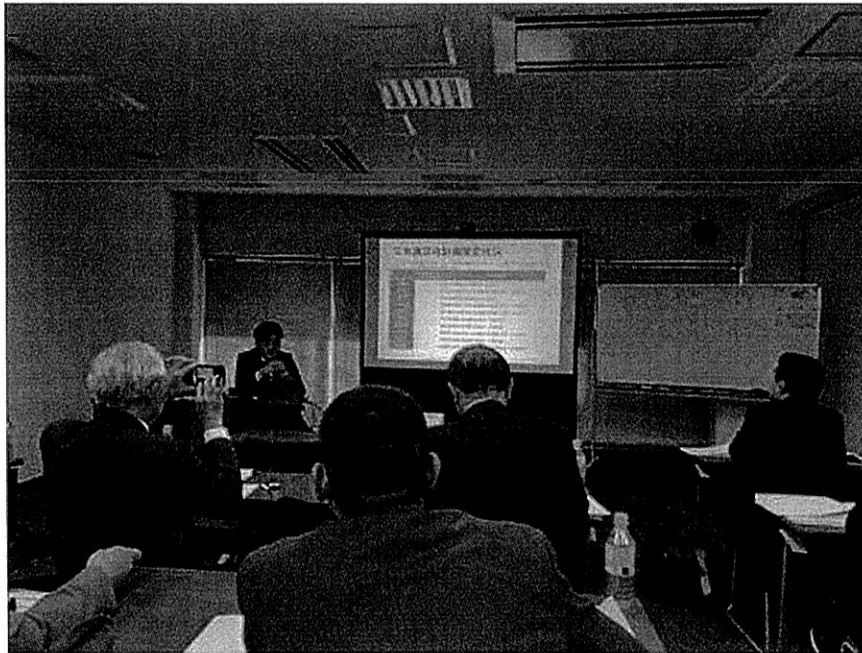
例えば、地方公共団体の財政状況をまとめた財政状況資料集によれば、本市の有形固定資産減価償却率は類似団体と比べて全体的に低い傾向であるものの、これを施設類型別で見ると認定こども園・幼稚園・保育園が高い水準であること、また公営住宅についても類団に比べて低い水準であるが、本市の公共施設のなかで棟数・延床面積の多くを占めることが公共施設等総合管理計画で確認できる。

このことから西エリア保育園の再編計画は速やかに行われなければならないし、公営住宅の更新についてもかつての時代状況と異なり、世帯構成人数や間取りのニーズ等の変化や、民間賃貸の充実や空き室の状況を踏まえ、家賃補助の充実を図るなど効果的な運用を検討していく必要

があるのではないか。そして老朽施設の更新は将来負担を押し上げることに繋がりがねないことから、今後、執行側には有利な財源の見極めや精度の高い将来予測に基づく具体的な計画策定と住民への説明力、そして議会の決断力が求められる。

我々が直面する社会は、高度経済成長時代につくられた多くの施設が更新時期を迎えるタイミングと人口減少が同時に進行する時代である。これまで拡げてきたものを合理化・縮小することは想像を絶する困難が伴うが、この時代に市政に携わる我々議員および職員は、単眼的・近視眼的な視野にとらわれることなく将来世代に対しても責任ある政治を行わなければならない。

7 添付書類



要した経費： 1人合計 56,600円

資料2

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	研修費
整 理 番 号	6
領収書等添付欄	
領収証 No. _____ 令和6年2月6日 鳥羽 昌明 様 金 額 ¥25,000 但 2月 6日セミナー受講料として(後日視聴) 上記正に領収いたしました 内 消費税等 現金 収入印紙 〒112-0011 東京都文京区千石2-34-6 株式会社 廣瀬行政研究 登録番号 T2011001095530 係	
支 払 先	株式会社 廣瀬行政研究所
領 収 書 等 添付合計金額	25,000円

議員・職員のための

同時開催！
オンラインセミナー

自治体の防災・減災 対策と議会の役割

2月6日(火) in 京都



講師：**鍵屋一** 【跡見学園女子大学教授】

1956年 秋田県男鹿市生れ。早稲田大学法学部卒業、京都大学博士（情報学）
板橋区福祉部長、危機管理担当部長、議会事務局長などを経て2015年3月退職
2015年4月から跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授
内閣府「災害時要援護者の避難支援に関する検討会委員」など
内閣官房地域活性化伝道師、（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事、NPO法人東京
いのちのポータルサイト副理事長、（一社）マンションライフ継続支援協会副理事長など
著書に『図解よくわかる自治体の防災・危機管理のしくみ』『地域防災力強化宣言』『福祉施設
の事業継続計画（BCP）作成ガイド』など

10:00～13:00

自治体の防災・減災 マネジメント（基礎編）

1. 近年の災害と予測される
国難災害
2. 社会の脆弱性と正常化の偏見
3. 自治体の防災対策
～要配慮者支援対策を中心に～
4. 災害時の議会、議員の役割

14:00～17:00

実例からみる防災対策における 議会・議員の役割（実践編）

1. 自治体防災対策の深掘りと実例
～防災基本条例、耐震化、地区防災計画など～
2. 避難、避難生活支援
3. 災害時の議会、議員の行動事例
4. 災害時の執行機関と議会、
議員との関係
5. 議会BCPと議員の行動規範



お申込みはホームページからお願いいたします。

廣瀬行研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

参加希望講座のチェックボックスに
☒ をお願いいたします。

フリガナ	
お名前	
貴議会名	
領収書 お宛名	
ご住所	(〒)
TEL	() -
FAX	() -
E-mail	@

☐ **2月6日(火)10:00～13:00 京都**
自治体の防災・減災マネジメント
(基礎編)

☐ **2月6日(火)14:00～17:00 京都**
実例からみる防災対策における
議会・議員の役割(実践編)

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに☒をお願いいたします。

☐ **オンライン受講**

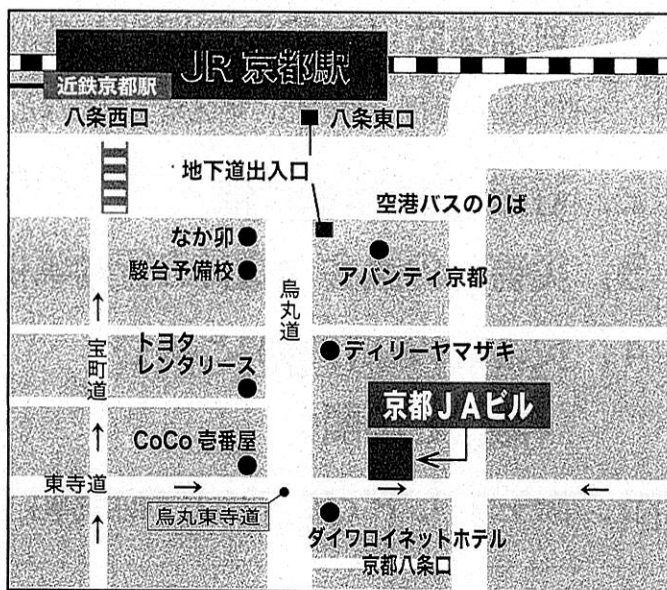
※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入ください。

★キャンセルは7日前までにメールまたはFAXにてご連絡ください。

※お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。

※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。

※お一人様につき1つの講座の申し込みが必要です。1つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。



受講料

各講座受講 15,000円(税込)

2講座受講 25,000円(税込)

開催場所

京都 JAビル「107」

JR 京都駅 八条口より徒歩 5 分

近鉄京都駅 八条口より徒歩 7 分

市営地下鉄(烏丸線)京都駅 八条口より徒歩 5 分

市営地下鉄(烏丸線)九条駅 徒歩 4 分

お問い合わせ・事務局

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧ください。

(株) 廣瀬行政研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6

<https://www.hirosegyoken.jp>

TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

資料1

領収書等添付一覧

(令和5年度報告分)

科 目	広報費	
整 理 番 号	主な支出内容	支出金額(円)
1	広報紙デザイン料	55,000
2	広報紙折込料	37,504
こ の 表 の 合 計		92,504円

資料2

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	広報費
整理番号	1
領収書等添付欄	
領収証 金額 とば昌明様 No. _____ ¥ 55,000 - 但 とば通信 vol.9デザイン 2024 年 3 月 28 日 上記正に領収いたしました 内 訳 税抜金額 消費税額等(%) ココヨ ウケ-95  	
支 払 先	グッドウォーカー
領 収 書 等 添付合計金額	55,000円

倉吉市議会議員

とば昌明通信

2024
VOL. 09

発行：鳥羽 昌明 市政に関するご意見・ご要望は→E-mail:masaaki17@docomonet.jp / TEL:090-2549-5376まで

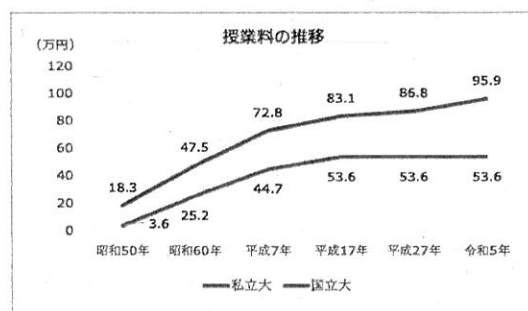
倉吉市内事業者への就職を機に、本市に転入した若者の奨学金返還を最大8年間支援します。若者の移住定住促進や地元出身人材の還流にも効果が期待されます。(施行開始:令和5年6月)

R2年度 日本学生支援機構調査によれば、奨学金は大学生の約半数が受給し、借入額の平均は約310万円と言われています(2022年 中央労協調査)。

奨学金返済について、近年、滞納や自己破産など返済に苦しむ若者が多いことが社会問題化していますが、その主な要因として、学費・生活費の高騰や卒業後の非正規雇用の拡大などといった社会構造上の問題が指摘されています。

返済が卒業後の人生設計に大きくのしかかることから、若者が結婚や出産をためらうケースや、より高い賃金を都市部に求める結果、地元企

業等での後継者・担い手不足が生じる一因となるなど地方にとっても重要な問題となっています。これまで、H31年2月議会、R3年9月議会、R3年12月議会の定例議会一般質問で取り上げ、今後少子高齢化がますます進展する本市に於いて不可欠な政策であると市長に訴えてきました。本事業により、若者の移住定住促進や地元出身人材の還流にも効果が期待されます。



出典:私立大学入学者に係る初年度学生給付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について(文部科学省)

■申請対象者: R5年4月1日以降に市内の事業所に正社員として就職した35歳未満の方
詳しくは、倉吉市ホームページまたは、市役所しごと定住促進課 0858-22-8129まで



障がい者手帳の代わりに、本アプリ画面を提示することで、障がい者割引等を受けられるようになりました。(導入開始:令和年9月)

公共交通機関での精算時や施設への入館手続きの際にスマホを提示することで障がい者割引や必要なサポートを受けられるアプリです。手帳の提示には一般の方から冷たい視線を浴びて心苦しかったとの当事者の声もあり、その心理的負担がなくなることや、紙の手帳の破損や劣化、紛失が防げるなどの効果が期待されます。全国で導入した企業、施設、自治体数は約3,900を超え、障がい者の社会参加の支援や経済的負担、心理的負担軽減のために、本市も導入を進めるべきではないかと、令和4年6月議会で市長へ訴えていました。



■主な市有対象施設

倉吉市温水プール、倉吉スポーツセンター、市営陸上競技場、市営武道館、市営ラグビー場、エキパル倉吉多目的ホール、せきがね湯命館、伯耆しあわせの郷、各地区コミュニティセンター、倉吉交流プラザ、倉吉博物館など

■その他

JR西日本、ANA、NEXCO西日本料金所など

能登半島地震被災者救援募金活動を2月12日に市内で行いました。

令和6年能登半島地震被災者を支援する鳥取県民の会)親子連れや中学生・高校生、若者からご年配の方まで多くの方々に協力いただきました。本当にありがとうございます。
お預かりした義援金57,135円は日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。



資料2

領収書等整理表

(令和5年度報告分)

科 目	広報費
整理番号	2
領収書等添付欄	

〒 682-0803
鳥取県倉吉市見日町

鳥羽昌明 様

TEL: 0858-22-6888

領 収 書
得意先番号
(3029226)

日本海ディヴェロプメント株式会社
日本海折込センター

登録番号: T4270001000282
〒 680-0932 鳥取県鳥取市五反田

TEL: 0857-32-3555
FAX: 0857-32-1222

		当回御請求額	
		37,504	
入金内訳	現金	1	¥ 37,504
	小切手	2	
	振込	3	
	手形	4	
	相殺	5	

入金月日 2024 年 3 月 28 日
但し 折込料として

下記の通り領収致しました。

領収額 ¥ 37,504

税率10%	税抜金額
	34,095
税率10%	消費税額
	3,409

取扱者	印 紙
	

支 払 先	日本海ディヴェロプメント株式会社 日本海折込センター
領 収 書 等 添付合計金額	37,504円